

神戸市介護サービス協会だより

神戸市介護サービス協会 〒651-0086 神戸市中央区磯上通3-1-32 神戸市社会福祉協議会内
TEL 078 (271) 5326 FAX 078 (271) 5366
URL <http://www.kaigo-kobe.net>
E-mail kaigo@with-kobe.or.jp

◆ C O N T E N T S ◆

神戸市との意見交換会	1・2	協会主催の研修会について	7
笑顔のゲンキ	3	協会の活動状況	8
H28年度事業報告	4・5	認知症サポーター養成講座	8
おひさまサポーター募集	6	個別加入のご案内	8
総会・第1回研修会案内	7	編集後記	8

平成29年度第1回 神戸市との意見交換会を開催しました

協会では毎年、介護保険制度に関する意見・要望を神戸市宛に提出するとともに、神戸市からの回答を得て、意見交換する場として、年に1回神戸市との意見交換会を開催してまいりました。今年度から、さらに神戸市との連携を密にし、多くの課題にスピードをあげて対応していくために神戸市との意見交換会を年2回開催することとなりました。

平成29年7月6日神戸市医師会館において、平成29年度第1回目の神戸市との意見交換会を開催しました。神戸市からは、保健福祉局介護保険課・介護指導課・高齢福祉課の課長、係長、また健康部地域医療課の係長にもご出席いただき、短い時間ではありましたが、当協会の運営委員と活発な意見交換が行われました。神戸市への要望及び神戸市との意見交換の内容は以下の通りです。

昨年度の意見交換会において神戸市に検討いただくこととなった以下の項目について、神戸市より進捗状況の報告がありました。

●介護人材確保策として、市営住宅の空き部屋の斡旋、市営施設の優待制度など市の施設を活用した神戸市独自の施策の検討。

神戸市：市営住宅の空き部屋の斡旋については公営住宅法により入居資格が定められているため、今の時点では実現は難しいが、住宅部局と一緒にできる事はないか検討している。例えば、長期間空き家になっている市営住宅を用途廃止して斡旋することができないかなど、どういったことができるか検討しているところである。

●高校生向けの「高齢者」や「看取り」に関する教育等、超高齢社会を担う人材の育成にむけた教育の推進。

神戸市：高齢社会を担う人材の育成に向けた教育については様々な取り組みをしている。必修授業の現代社会や家庭科であったり、選択科目ではあるが倫理の授業であったり、また一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通してキャリア発達を促す教育を、総合学習の時間やホームルームの時間、進路指導を通じて行っている。普通科においては、幅広い視野で職業選択ができるよう福祉業界を始め様々な職業があること、その意義を伝えるよう取り組んでいる。神戸市では特色のある高校づくりにも取り組んでおり、福祉教育のできる高校も設置している。東灘区の六甲アイランド高校には生活福祉コース、須磨区の須磨翔風高校では「福祉健康」という選択科目を設けて福祉業界に関心のある生徒のニーズに対応した取り組みを進めている。

●県で実施している介護福祉士試験の実務者研修と初任者研修に職員が参加する際の代替職員の経費補助について、他の研修も対象とするように県に対して要望。

神戸市：職員が研修に参加しやすい仕組み作りに関しては、兵庫県が上記の取り組みを行っているが、神戸市としては実務者研修・初任者研修だけでなく認知症に係る研修など対象事業を拡大するよう要望している。県に確認したところ、上記事業の利用があまり進んでいないとのこと、その理由を一部の事業者ヒヤリングしたところ「人材不足でそもそも代替職員が見つからないので、研修に出せるような状況ではない」という声もあったことなどから人材確保が課題だと考えられているようであった。

●神戸市高齢者介護士認定制度の周知。認定者のいる施設・事業者へのメリットとして介護保険サービス事業所監査指導の評価項目に入れることの検討。

神戸市：当制度の周知については、市の集団指導の場を通じて広報している。今後、より効果的な周知の方法について検討していきたい。平成29年度に新設された処遇改善加算のキャリアパス要件として当試験の合格を評価の基準とできることになったので、活用していただきたい。今後も引き続き当制度のよりよい運用を検討していきたい。

以下の項目については、神戸市に対し、次年度の事業計画、予算編成に向けて検討いただくよう要望し、今年度後半に開催する第2回神戸市との意見交換会において回答いただくようお願いしました。

1. 介護業界のイメージアップと介護人材の確保・定着にむけた施策の実施と予算の確保をお願いします。

- ①介護現場で働く将来像をイメージしやすくするためのキャリアアップの施策を示していただきたい。
- ②若年層に有効な媒体（映像、SNS等）を使った、介護のイメージアップを推進していただきたい。特に福祉体験は職業選択に影響を与えるので体験の機会を増やし、小、中、高校での福祉関連授業を必須化する等。また、市立高校に介護福祉科を設置することを要請いただきたい。
- ③神戸市高齢者介護士認定制度の継続のため、認定者のいる事業所への補助金、合格祝い金等の神戸市独自の補助金交付等、認定を受けた職員、所属事業所へのメリットとなる取り組みを検討いただきたい。

2. 介護予防・日常生活支援総合事業について、事業者、市民への周知、広報を徹底し、円滑な事業推進を図っていただきますようお願いいたします。

- ①市民向けの広報については「広報紙KOB E」の活用や、被保険者への送付物に同封する等、広くもれなく周知できる方法で、更なる市民啓発をしていただきたい。
- ②介護保険事業者・従事者向けの周知が徹底できていないため、事業所によって、介護予防・日常生活支援総合事業の見解に相違があるので、神戸市として統一できるよう詳細に周知・広報していただきたい。また、今後の事業継続に向けて、総合事業従事者の確保、教育を積極的に実施していただきたい。
- ③事業者指定や制度の周知に係る情報提供が遅いため、事業所での運営や体制面を検討する余裕がない。検討に要する期間を配慮した対応をいただきたい。
- ④インフォーマルサービスを提供する団体の認可状況及び内容（営業時間、料金等）を逐次知らせていただき、神戸ケアネットでも検索できるようにしていただきたい。

3. 地域包括ケアシステムについて、神戸市（行政）の所管を明確にして、神戸市が目標とする組織、仕組みの具体像を示していただきますようお願いいたします。

- ①医療・介護サポートセンター及び地域包括支援センターの運営に関する委員会や、介護保険計画の検討会など様々な委員会等があるが、同じようなメンバーで構成される組織、システムが多数あるので、整理・統合いただきたい。
- ②地域包括ケアシステムの構築について、地域により進捗状況や受け皿の整備状況の差が出ないように、神戸市が事務局となり主体的に関係機関と連携して取り組みを進めていただきたい。
- ③神戸市は「認知症にやさしい街づくり」を目指しているので、認知症の早期発見に向けて、地域での見守り活動の充実と十分な広報をお願いしたい。また、認知症と診断され車の運転ができなくなることで生活に支障が出る方について、神戸市としての支援をお願いしたい。
- ④地域ケア会議の開催や、高齢者安心登録事業等、地域包括支援センターの業務が増え続けているなか総合事業も始まり、地域包括支援センターにかなりの負担がかかっている。適正な運営ができるよう、地域包括支援センターの負担軽減をお願いしたい。

4. 介護報酬・介護保険制度について、神戸市独自で対応可能なことは対応いただき、厚生労働省に要望すべきことは要望いただきますようお願いいたします。

- ①ガン末期の訪問看護は医療保険の対象になるが、若年者の場合3割負担なので高額療養費の上限が高い。経済的理由でサービスを減らさないといけない方への市独自の助成を検討いただきたい。
- ②認定調査対象者が増加する中、調査員の確保が困難な状況である。神戸市の機関等での認定調査対応が可能か検討いただきたい。
- ③介護保険制度の存続のためにも、介護事業者が事業継続できるよう介護報酬本体の増額を国に要望していただきたい。
- ④介護老人保健施設でも医療保険が使えるように、特別養護老人ホーム入居者の外部医療利用の拡大を国に要望していただきたい。
- ⑤同一法人によるサービスの集中減算について、一律に減算するのではなく条件整備をしていただきたい。
- ⑥特養の入居者は重度化しているが、職員配置基準は変更されていない。特養の人員配置の見直しをお願いしたい。

5. その他

- ①サービス付き高齢者向け住宅については、建物関係と介護サービスとでは行政の所管の違いがあるが、入居を検討する方は全てをまとめて施設と認識していることが多いため、神戸市として一元的に相談を受け、指導する部署を設置する等の対応をしていただきたい。また、高齢者の居住場所となる施設・住宅の種別について、介護、医療等の違いがわかるパンフレット等を作成していただきたい。
- ②神戸ケアネットの施設・事業所一覧について、種別や名称、住所などから検索するシステム構築をお願いしたい。また、追加、廃止、変更のあった事業所がわかるようにしていただきたい。
- ③「在宅患者情報共有シート」等、医療・介護連携のためのシステムやあり方について検討いただきたい。

第3回

笑顔のゲンキ (がんばる介護職！)

今回は、介護老人保健施設ハーベスピアの三浦貴浩さんを訪ねて、お話を伺いました。

介護職に就いて8年目とのことですが、なぜ介護の仕事に就こうと思われたのですか？

前職はサービス業だったのですが、子どもの頃、ずっと世話をしてくれていた大好きな祖母がパーキンソンの症状で意思疎通が難しくなって、自分にも何かできることがないかと思い、サービス業で培った経験を高齢者介護に活かせるのではないかと思い、介護業界に入りました。

やはり、身近な方に介護が必要になって初めて介護の仕事を知ったという方が多いですね？

私の場合は母親が看護師なので、初めから介護業界への抵抗はなかったのですが、入社して認知症専門棟の担当になり、その頃受講していたヘルパー2級の講習の内容とは違うと感じました。さらに一歩踏み出したサービスの技術、知識が必要と感じ、3年目で介護福祉士を取得しました。その次の年に受講した神戸市高齢者介護士の講習会ではそれまで学んできたことの上書きができて自信につながりました。



介護の仕事の魅力、やりがい等を教えてください。

急性期の病院を退院して入居された方等に安心して生活できる環境を提供し、ADLが上がったなどの細かい事の積み重ねがやりがいにつながっています。実際、介護職に転職した時は収入も減りましたが、表情の変化のなかった方や、認知症の周辺症状のあった方が穏やかになり、「おはよう」や「ありがとう」と声をかけていただくと、この仕事について本当に良かったと思います。資格を取る等スキルアップすることにより、収入も増えていきますし、やりがいのある仕事というよりも、やりがいばかりの仕事だと思います。

職場の雰囲気はどうですか？

実際、恵まれた職場だというのはあると思いますが、チーム力が必要な仕事ですので、自分から人間関係を作っていくという姿勢も大事だと思います。せっかく仕事をするのだから、楽しい方がいいじゃないですか？それはどの仕事においても同じだと思います。資格を持っているのに離職してしまうのはもったいないので、介護の仕事を辞めた方にも戻ってきてもらえるような取り組みが必要だと思います。

介護の仕事を辞めた方に戻ってきてもらうことも必要だと思いますが、これから介護の仕事に就こうという方を増やすにはどうすればよいと思われますか？

介護に関する情報が少なく、悪いイメージを持たれているので、もっと介護の仕事についてPRする必要があると思います。介護職は、きつい、汚い、危険などと言われていますが、技術や知識を身につければ、そんなことはありません。

サービス業に就いている人で転職を考えている人には、介護業界を勧めたいです。人手不足と言われている飲食業等に比べると、介護職はシフトがきっちりしているので、拘束時間も短いし、休みもきちんと取れます。仕事に関する教育体制もしっかりしているので、スキルアップできて自信につながります。

子ども達に将来の仕事として介護を選択肢に入れてもらうには、小学生の場合、お年寄りとの交流の場を作るところから始めないといけないのではないのでしょうか。高齢者と同居していない子どもにとって、高齢者は別の生き物くらい遠く感じているようです。中学生くらいになると、高齢者の特性などを教えて、こういう仕事もあるということを知ってもらえればよいと思います。

前向きで、プロ意識の高い三浦さんは、どんな業界でもよい仕事をされる方だと思いましたが、人と接するサービス業は天職だとおっしゃっていたとおり、本当に明るく、さわやかな方で、入居者の方にも慕われているようでした。三浦さんがおっしゃっていたように、色々な方に介護の仕事を知ってもらえるような取り組みが必要だと感じました。

平成28年度事業報告

1. 組織運営

(1) 理事会の開催（定例2回）

平成 27 年度の事業報告・決算報告のほか、平成 28 年度の協会活動を進める上での方針等を確認しました。

平成 29 年度は、介護保険制度に関する課題への取り組み、関係者間の連携を図るうえでの課題への取り組み、介護サービスの質の向上に資するための取り組み、介護人材の確保・育成、環境改善等に取り組んでいくことを確認しました。

(2) 運営委員会の開催（隔月毎）

理事会で確認された事業方針・事業計画に則り、運営委員会で協会事業全般についての協議を行い、事業具体化のための検討、各部会間の調整を行いました。

- ◆「介護保険制度に関する課題への取り組み」については、各委員より厚生労働省に対する意見・要望と、神戸市に対する意見・要望を集め、「神戸市への介護保険制度に関する要望」として 10 月に神戸市宛提出しました。厚生労働省に対する要望については神戸市を通じて厚生労働省に要望していただくようお願いし、神戸市に対する意見・要望については 11 月に開催された神戸市との意見交換会の場において回答を得るとともに、意見交換を行いました。
- ◆「介護人材の確保・育成・環境改善への取り組み」については、将来的な人材確保に向けて、市民に介護についてもっと知ってもらい、イメージアップを図る取り組みを進めることとし、運営委員会内に小委員会を設置しました。
- ◆人材確保策の選択肢の一つとして、経済連携協定（EPA）に基づく外国人介護福祉士候補者の受け入れ制度について、介護事業者の理解・関心を深めるための取り組みを行いました。

(3) 神戸市との意見交換会（拡大運営委員会・部会）の開催（1回）

神戸市に対する「神戸市への介護保険制度に関する要望」の回答を神戸市から得るとともに、神戸市との意見交換を行う場として、神戸市との意見交換会を開催しました。

(4) 小委員会の開催（1回）

介護現場への理解・介護人材確保に向けた市民啓発を考える小委員会を開催し、介護のイメージアップと人材確保に向けての取り組みについて協議を行い、具体策について検討を行いました。

(5) 部会の開催（隔月毎）

運営委員会で協議された事業を具体化するために、「居宅介護支援サービス部会」「在宅サービス部会」「施設サービス部会」の 3 部会を開催し、各部会で事業内容の検討を行いました。

居宅介護支援サービス部会（5回）

- ◆「介護保険制度に関する課題への取り組み」については、総合事業開始に向けて、総合事業の課題について検討を行いました。
- ◆「関係者間の連携を図るうえでの課題への取り組み」については、地域ケア会議の課題及び、関係者への情報提供のあり方について検討を行うとともに、医療情報を含む利用者情報の共有のあり方について検討を行いました。

在宅サービス部会（5回）

- ◆「介護保険制度に関する課題への取り組み」については、総合事業開始に向けて、総合事業の課題について検討を行いました。
- ◆「介護人材の確保・環境改善への取り組み」については、研修会等でノーリフトケアの啓発に努めました。

施設サービス部会（5回）

- ◆「介護サービスの質の向上に資するための取り組み」については、施設における看取り及び、施設での医療体制の課題について検討を行いました。
- ◆「介護人材の確保・環境改善への取り組み」については、介護人材の確保・定着及び、キャリアアップについての具体的な対策等について検討を行いました。

2. 協作成マニュアル等の販売

協会で作成した介護ノートや、マニュアル類を申し出のあった希望者や研修会場等において販売しました。

- ◆介護ノート
- ◆在宅介護における事故・クレーム対応事例集
- ◆在宅介護における感染予防マニュアル
- ◆疾患別高齢者介護のポイント
- ◆ホームヘルパーきほんのき

3. 介護保険に関する情報の提供

最新の介護保険情報及び保健・医療・福祉に関する情報、協会事業の案内・報告など、会員に対して情報提供を行いました。

- ◆研修会の場を通じて、全国・神戸市での介護保険の実施状況や介護保険に関する最新情報について情報提供を行いました。
- ◆「協会だより」を発行し、協会事業の取り組み状況、研修会の報告、介護関連職種の紹介等の情報提供を行いました。（3 回発行）
- ◆介護保険等に関する最新情報の提供、各種研修会等の情報を発信するために開設したホームページを通じて、会員に対する情報提供に努めました。（HP アドレス <http://www.kaigo-kobe.net>）

4. 各種研修会の開催

介護サービスの全般的な質の向上を図るため、全会員事業者を対象とする研修会を年間3回開催するとともに、より質の高い介護サービスを提供していくため、特定職種を対象とした研修会や、特定の分野に特化した内容の研修会を開催しました。

(1) 全体研修会の開催

① 第1回研修会 ※平成28年度総会と合わせて開催

◆日時 平成28年9月3日(土) 午後1時10分～4時30分

◆内容 講演「在宅介護におけるノーリフトの考え方と実践」
講師：社団法人日本ノーリフト協会 代表理事・看護師 保田 淳子 氏
デモンストレーション「介護者・要介護者双方に負担の少ないケアの方法」

② 第2回研修会 ※神戸市高齢者介護士認定証授与式に引き続き開催

◆日時 平成28年11月8日(火) 午後3時30分～5時

◆内容 講演「ズバリ！職場の雰囲気はいいですか？～介護現場でのコミュニケーション能力の向上～」
講師：兵庫県対人援助研究所 主宰 稲松 真人 氏

③ 第3回研修会

◆日時 平成29年3月9日(土) 午後2時30分～4時

◆内容 講演1「神戸市における総合事業に関する動向」
講師：神戸市保健福祉局介護保険課 介護予防担当課長 横川 洋 氏
講演2「認知症の人を地域で支えていくために～神戸でのしくみづくりにむけて～」
講師：神戸市保健福祉局介護保険課 高齢者支援担当課長 松原 雅子 氏

(2) 特別セミナー「外国人介護士受入れに向けて～実践施設より学ぶ～」の開催 ※神戸市委託事業

◆日時 平成29年1月26日(木) 午後2時～4時40分

◆内容 講演1「EPA 外国人介護福祉士受入れのあらましと実務」
講師：公益社団法人国際厚生事業団 受入支援部 部長 稲垣 喜一 氏
講演2「施設が取り組むべき課題～外国人介護士を受け入れて～」
講師：特別養護老人ホームうみのほし長峰台 施設長 平岡 千里 氏
発表「日本で介護士として働いて・・・」
発表者：特別養護老人ホーム真愛ホーム／特別養護老人ホームうみのほし 外国人介護士



(3) その他の研修会

① サービス提供責任者研修会（神戸市シルバーサービス事業者連絡会との共催）

◆日時 平成28年5月19日(木)～平成28年8月18日(木)の毎月1回開催（午後1時30分～4時30分）

◆内容 講義と実習：サービス提供責任者の役割、サービスの質の向上を図る上でのポイント等

② 在宅介護における口腔ケア実習（神戸市シルバーサービス事業者連絡会との共催）

◆日時 平成28年9月26日(木)（午後2時～4時）

◆内容 実際の口腔ケアのポイント等を歯科衛生士より実習形式で学ぶ

③ 在宅介護における感染予防研修会（神戸市シルバーサービス事業者連絡会との共催）

◆日時 平成28年12月12日(月)（午前10時～午後4時）

◆内容 講義「感染予防の必要性和その意義」 実習「感染予防テクニックの要点と技術の習得」

④ 介護現場で知っておきたい医学知識研修会 part1・part2

◆期 日 平成28年9月15日(木)～平成28年11月17日(木)の毎月1回開催（午後1時30分～4時30分）

平成28年12月8日(木)～平成29年2月23日(木)の毎月1回開催（午後1時30分～4時30分）

◆内容 講義：介護現場に従事する人が知っておくべき医療知識について合計15項目 ※選択受講

5. 神戸市高齢者介護士認定事業の実施

平成28年度の神戸市高齢者介護士認定にむけた講習会を開催するとともに、認定試験を実施し、認定者に対する認定証授与式を開催しました。

また、高齢者介護士委員会・実務者会において、事業内容の確認、カリキュラムの検討等を行いました。

(1) 神戸市高齢者介護士委員会の開催 (3回)

◆平成28年度認定試験、合否判定、神戸市への推薦について。次年度の事業について。

(2) 神戸市高齢者介護士実務者会の開催 (4回)

◆カリキュラム内容調整。認定試験問題作成。認定試験の採点。

(3) 神戸市高齢者介護士講習会及び認定試験

◆講習会 日時：平成28年5月29日(日)～平成28年7月14日(木) 全4回開催（午前9時15分～午後5時）

◆認定試験 日時：平成28年8月7日(日) 午前10時～午後4時15分

(4) 神戸市高齢者介護士認定証授与式及び認定者との意見交換会

◆認定者との意見交換会 日時：平成28年11月8日(火) 午後2時～2時50分

◆神戸市高齢者介護士認定証授与式 日時：平成28年11月8日(火) 午後3時～3時30分 ※第2回研修会と同時開催

若年性認知症の方と家族の交流会 おひさま サポーター募集!!

神戸市社会福祉協議会では、平成 22 年より、若年性認知症のご本人・ご家族、その支援者を対象に、ご本人の社会参加の場、ご家族の交流・情報交換の場、専門職と支援のあり方を検討する場として若年性認知症の方と家族の交流会「おひさま」を開催しています。

おひさまでは、認知症のご本人が参加されるプログラムのサポートや見守り、昼食の配膳等のお手伝いをしていただけるサポーターを募集しています。若年性認知症ケアに興味のある方等、見学を兼ねて 1 回だけの参加も OK です。

対 象 者：介護サービス事業所の職員の方
認知症サポーター養成講座を受講された方
若年性認知症に関心のある方

開催日時：毎月第 3 土曜日 10:30 ~ 15:00 (平成 29 年 9 月は第 4 土曜日)
サポーターの方は、準備・片づけのお手伝いを含めて 9:00 ~ 16:00

開催場所：こうべ市民福祉交流センター内 (神戸市中央区磯上通 3-1-32)

参 加 費：700 円 (昼食代 500 円含む) ※プログラムにより変更あり



おひさまの 1 日 (例) ※ 7 月開催

- | | |
|-------|---|
| 10:30 | 交流会開始 はじめの会
参加者から一言ずつご挨拶いただきます。 |
| 11:00 | 午前の活動プログラム
※ご本人、ご家族別々のプログラムを用意しています。
＜ご本人プログラム＞
七夕の笹飾りの作成。短冊に願いを書きました。
＜ご家族プログラム＞
情報交換会 (ご家族同士が情報交換する時間)
本人への思いや、家族の気持ち、仲間としてのアドバイスなど毎回熱心に話をされています。 |
| 12:00 | 昼食 参加者全員でお弁当を食べます。 |
| 13:00 | 午後の活動プログラム
音楽鑑賞会。ご本人、ご家族一緒に、交流会参加者以外の来館者の方も一緒に、生演奏を堪能しました。 |
| 14:30 | 茶話会、終わりの会
お菓子とコーヒーをいただきながら、1 日の感想を発表します。 |



毎回、ご本人が楽しめるプログラムや、それぞれの個性を生かし役割を持てるプログラムに取り組んでいます。室内ゲーム、近隣の地域清掃、音楽鑑賞、工作等

医師等の専門家にいらっしゃり、相談に乗っていただくこともあります。

みんなで昼食を作る調理活動をする事もあります。



ご本人・ご家族一緒に参加できるプログラムもあります。遠足に行くこともあります。(イチゴ狩り、芋掘りなど)



ご興味がある方は下記宛、お気軽にご連絡ください!

神戸市社会福祉協議会 こうべ認知症生活相談センター (担当: 藤原 吉岡)
神戸市中央区磯上通 3-1-32 こうべ市民福祉交流センター 4 階
Tel: 078-271-5081 (9 時~ 17 時) E-mail: nyusyo@with-kobe.or.jp
ホームページ: <https://www.with-kobe.or.jp/detail/ohisama/>

毎月の活動状況や開催案内も掲載しています!

平成29年度 総会・第1回全体研修会のご案内

口 福

～口から食べることの大切さを考える～

日 時：平成29年9月21日（木）

13：30～ 平成29年度総会

14：00～ 第1回全体研修会

講演1「おいしく安全に食べるための口腔ケア」

講師：公益社団法人神戸市歯科医師会 高齢者福祉委員会 委員 杉本 勝一 氏

講演2「高齢者の栄養改善・食生活の工夫」

講師：公益社団法人兵庫県栄養士会 理事 三谷 加乃代 氏

会 場：こうべ市民福祉交流センター 2階 201 教室

定 員：180名（先着順）

申込方法：協会ホームページより申込用紙をダウンロードし、FAXでお申込みください。



**参加費
無料**

●●● 神戸市介護サービス協会主催の研修会について ●●●

協会では、会員事業所を対象に介護サービスの全般的な質の向上を図るため、年3回全体研修会を開催するとともに、より質の高い介護サービスを提供していくため、各職種を対象とした、スキルアップのための研修会を開催しています。平成29年度の開催予定は以下のとおりです。各研修会の受講者募集等詳細につきましては、その都度、協会ホームページに掲載いたします。

◆サービス提供責任者研修会 6月～8月 3時間×3日（開催済）

対象者：訪問介護事業所 サービス提供責任者

内 容：基準に基づくサービス提供責任者の役割についての講義。

サービス提供責任者の課題への対応について、グループワーク。（写真右）

対人折衝能力の向上に関する講義及び実技。

在宅介護に必要な医療知識、薬剤知識の講義 等。



◆在宅介護における口腔ケア実習 9月30日 2時間（受講者募集中）

対象者：口腔ケアに興味のある介護従事者

内 容：口腔ケアの基礎知識の講義。

少人数のグループで、歯科衛生士より実際のケアのポイント等を指導いただく口腔ケア実習。

◆在宅介護における感染予防研修会 11月頃 5時間

対象者：訪問介護事業所従事者等 介護保険事業所従事者

内 容：感染予防についてのグループワーク。感染予防及び各感染症の基礎知識に関する講義。

感染予防テクニックの要点と技術の習得（実習）

◆介護現場で知っておきたい医学知識研修会part1、part2 9月～2月 3時間×6日 ※1日ごとの選択受講

対象者：ケアマネジャー、介護保険事業所従事者等

内 容：介護現場で直面する事多い疾患等の基礎的な医学知識を中心とした講義。

1科目60分または90分程度で「内科疾患」「脳卒中と神経難病」「ターミナルケア」「皮膚科疾患」「整形外科疾患」

「認知症・精神疾患」「口腔ケア」「薬剤知識」等、合計15科目の講義。

神戸市介護サービス協会ホームページ： <http://www.kaigo-kobe.net>

協会の活動状況

◆ 4月から8月までの動き

平成29年	
4月	4日 平成29年度第2回神戸市高齢者介護士実務者会
	6日 平成29年度第1回運営委員会
5月	8日 平成29年度第1回在宅サービス部会
	11日 平成29年度第1回居宅介護支援サービス部会
	13日 平成29年度第1回施設サービス部会
	13日 神戸市高齢者介護士講習会1日目(参加者34名)
	18日 第2回介護現場への理解・介護人材確保に向けた市民啓発を考える小委員会
6月	1日 平成29年度第2回運営委員会
	12日 神戸市高齢者介護士講習会2日目(参加者33名)
	平成29年度第3回神戸市高齢者介護士実務者会
	15日 サービス提供責任者研修会1日目(参加者56名)
7月	24日 神戸市高齢者介護士講習会3日目(参加者32名)
	6日 平成29年度第1回神戸市との意見交換会
	10日 平成29年度第2回在宅サービス部会
	13日 神戸市高齢者介護士講習会4日目(参加者33名)
7月	平成29年度第2回居宅介護支援サービス部会
	平成29年度第2回施設サービス部会
7月	14日 平成29年度第1回神戸市高齢者介護士委員会

8月	27日	サービス提供責任者研修会2日目(参加者55名)
	3日	平成29年度第3回運営委員会
	6日	平成29年度神戸市高齢者介護士認定試験(受験者33名)
	10日	平成29年度第1回理事会
	12日	平成29年度第4回神戸市高齢者介護士実務者会
	17日	平成29年度第2回神戸市高齢者介護士委員会
	24日	サービス提供責任者研修会3日目(参加者54名)

◆ 今後の予定(期日確定分のみ)

平成29年		
9月	6日	第3回介護現場への理解・介護人材確保に向けた市民啓発を考える小委員会
	11日	平成29年度第3回在宅サービス部会
	14日	平成29年度第3回居宅介護支援サービス部会 平成29年度第3回施設サービス部会
	21日	平成29年度総会・第1回全体研修会
	28日	介護現場で知っておきたい医学知識研修会 part 1 1日目
	30日	在宅介護における口腔ケア実習

神戸市認知症サポーター養成講座のご案内

神戸市認知症研修は、認知症について正しく理解するための市民向け研修です。この研修では、認知症の症状や認知症の方への接し方を学ぶことができます。この度、「認知症サポーター養成講座」を2か所の会場で開催いたします。どなたでも参加できますので、みなさまぜひご参加ください。

参加費
無料

	日 時	場 所	定 員	申込締切
①	10月 5日(木) 18:00~19:30	こうべ市民福祉交流センター(神戸市中央区磯上通3丁目1-32)	100名	9月28日
②	10月28日(土) 10:30~12:00	たちばな職員研修センター(神戸市中央区橘通3丁目4-2)	80名	10月20日

<内 容>

- 認知症とは? ● 認知症の方への接し方 ● 認知症サポーターとは ● 認知症の相談窓口

<申し込み方法>

神戸市社会福祉協議会ホームページより申込書をダウンロードし、FAXにてこうべ認知症生活相談センターまでお申込みください。(先着順)

<申込先・お問合せ先>

社会福祉法人神戸市社会福祉協議会 こうべ認知症生活相談センター 担当:藤原・久我
〒651-0086 神戸市中央区磯上通3丁目1-32 こうべ市民福祉交流センター
TEL(078)271-5081・FAX(078)271-5366



受講者には
オレンジリングを
配布します

神戸市社会福祉協議会ホームページ
<http://www.with-kobe.or.jp>

個別加入のご案内

協会では、下記の団体加入会員(団体一括加入)の7団体に加入されていない法人・事業所等で、神戸市内で活動を行う介護サービス事業者を運営する法人・事業者や介護サービス関連事業を行う団体を対象に、個別加入の受付を行っています。

詳しくは、協会事務局までお問い合わせ、または協会ホームページをご覧ください。

- 団体加入会員(団体一括加入)
- 一般社団法人 神戸市老人福祉施設連盟
- 神戸介護老人保健施設協会
- 公益社団法人 神戸市民間病院協会
- 神戸市シルバーサービス事業者連絡会
- 一般社団法人 神戸市医師会
- 公益社団法人 神戸市歯科医師会
- 一般社団法人 神戸市薬剤師会
- 上記の7団体に所属する会員

編集後記

親の付き添いで病院に行ったところ、検査の順番待ちや料金精算等いろいろIT化されていました。高齢者が多い場所なので、専任の案内係が丁寧に説明されていますが、見渡すとかなり高齢な方でも皆さん携帯電話は持っているようで、スマートフォンを使いこなしている方もおられるようでした。パソコンも携帯電話も私が社会人になってから登場したので、仕事で必要な機能くらいしか使えませんが、私生活でも電子機器やSNSの知識があるかどうかで大きな差ができることが多々あります。生まれた時からネットがあった「デジタルネイティブ」世代には及びませんが、「デジタルおばちゃん」を目指して、勉強しようかなと思うこの頃です。(か)